

コード	602030101
記入日	H24.6.8

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	前田 芳朗
担当者	田端 睦雄

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	地域づくり支援事業
----------	-----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	6	政策名称	参加と行動による協働のまちづくり	款コード	2
施策コード	602	施策名称	住民参加のしまづくり	項コード	1
基本事業コード	60203	基本事業名称	コミュニティ活動の推進	目コード	7
事務事業コード	6020301	事務事業名称	地域づくり支援事業	細目コード	801
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町地域活動支援事業補助金交付要綱		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 各行政組織（自治会等）		(対象指標1) 126行政組織				
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)		(指標名称)		(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)
*****		*****		*****	*****	*****
		補助金交付件数		53件	100%	補助金交付件数 ÷補助金申請件数
		① (達成率分析)		補助金については、53件の申請があり、内容を確認し53件とも交付した。施設整備については、集会所の補修が20件と全体の51%を占めた。		
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)		(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)
		*****		*****	*****	*****
		コミュニティ活動参加者数		3,445人	172%	コミュニティ活動参加者数 目標参加者数
		① (達成率分析)		コミュニティ活動を行う自治会等が徐々に増えている。		
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	198	198	145	53	53				
	②									
成果指標	① 人	9,077	10,522	7,077	2,000	3,445				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	51,305	51,305	40,975	10,330	10,330				
直接事業費 A	千円	28,205	28,205	21,375	6,830	6,830				
人件費 B	千円	23,100	23,100	19,600	3,500	3,500				
内訳	従事職員数	人	3.3	3.3	2.8	0.5	0.5			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円	5,976	5,976	4,502	1,474	1,474			
一般財源	千円	45,329	45,329	36,473	8,856	8,856				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	協働のまちづくりを進めるため、地域住民による自主的な地域づくりを支援することがまちづくりに繋がる。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	徐々にではあるが、コミュニティ活動事業も増え、確実に地域づくりに対する意識は変わって来ている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	制度の周知徹底により、成果は向上する。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	協働のまちづくりに向け、確実に住民意識は向上している。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	● 代えられる ● 代えられない	理由	協働のまちづくりを目指し、この要綱に基づき進める。

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	地域活性化を図るため、特にコミュニティ活動事業については、制度周知を図り進めて行く必要がある。
	今後、課題に向けた改善策	コミュニティ活動（ソフト）事業を進めることが、地域づくりに繋がると思うので、積極的に地域に入り共に地域づくりを考えて行く。

2次評価	地域の活性化策としてコミュニティ活動の推進は有効であり地域づくりに繋がる。申請件数も前年度より増加しており、今後も制度の周知を図り、地域に入りともに地域づくりを考えて協働のまちづくりを推進する。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。